

# 日刊航空通信

## AVIATION DAILY JAPAN

昭和28年12月9日第三種郵便物認可

日刊(上曜・日曜・祝祭日を除く)

発行所 株式会社日本航空新聞社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 東京STビル

☎03(3555)1491(代) FAX:03(3552)7580

編集発行人 佐藤 隆

購読料 1年 108,000円 半年 60,000円(税共)

### 目次

平成21年1月30日(金曜日)第13980号

#### ◎ ITCアエロスペース、東京消防庁のAS332L1を落札 日本で重整備作業行い、リース事業を積極的に展開へ

㈱ITCアエロスペースおよび(有)ITCリーシング(本社:東京都中央区、中山智夫社長)は東京消防庁が大型防災ヘリとして長年使用、活躍し、今年退役となった1988年製大型ヘリコプター・スーパーピューマ「ゆりかもめ」(1988年製造、登録番号JA9676、型式AS332L1)を1月に同庁が実施した公開入札で落札、2月中旬にITCが購入し、日本で重整備作業を行った上で、国内外のヘリ運航会社にリース事業機として、同社はすでにこの機体を国内および海外の有力航空会社に対して中・長期のリースを提案しており、近くまとまるもよう。

東京消防庁航空隊(前川貞之航空隊長)では、同型機の後継機としてスーパーピューマのアップグレード型、EC225「ゆりかもめ」JA119Yを導入し、昨年4月11日に立川基地で就名披露式を行っている。

これまで、日本の政府、地方自治体、民間航空会社が長年使用して退役となる航空機は年間約35機あり、同社は新機航空機の販売・リース事業に加えて、中古の機体を積極的に落札ないし購入して世界の航空会社に多くの機体を販売してきた実績を持つ。

同社は、現在国内および海外で多くの航空機をリースしている中で、今回はこうした大型ヘリコプターを購入し、単純な売却でなく、同社のリース資産として世界の航空会社にリースする形で、マーケティングを開始した。すでに国内の運航会社一社、海外からはEU2社、北米1社から短期・長期リースの引き合いを受けている。用途は主に海底油田用人員・物資輸送、森林火災消火、VIP・旅客輸送、救難・救助作業の市場が対象となり、引き合いの多くは石油会社、大手エンジニアリング会社、政府、州政府、緊急医療・救難会社などである。

従来、日本から海外に売却される中古航空機は整備が良く行き届いており、不具合箇所も少ないことから海外の航空会社からの需要は底堅く、同社はこうした機体をリース組成してより付加価値のある形で今後のリース事業を積極的に展開を図っていく考え。